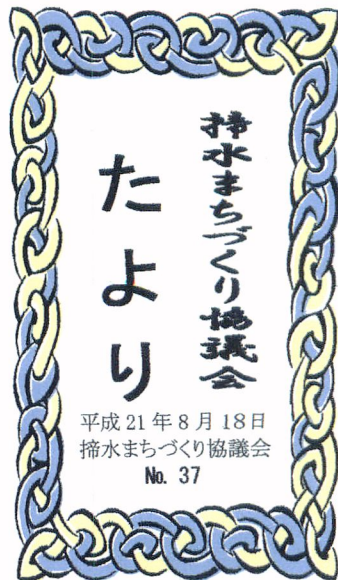


掃水まちづくり協議会 環境問題プロジェクトチームより

## 明日の自分に返ってくる自分の問題として

# あいさつを子どもにも！ ごみ減量に取り組みましょう！

環境問題プロジェクトチームより、地域の皆様へもう一度、「できるきるところから運動」を原点に戻って考えて、実行いただくことをお願いします。



行事予定	
・評議員会	8月27日(木) 19時 センター
・親子球技大会	9月13日(日) 8時30分 小学校体育館
・お蔭参り公開講座	9月19日(土) 13時 センター
・合同自主防災訓練	10月4日(日) 8時45分 小学校グラウンド

**その一、「持つてこに マイバック！」**  
 ……段ボール箱の使用は控えましよう……  
 「できるところから運動」の一環であるマイバックの使用にご協力ありがとうございます。松阪市からの調査によりますと、レジ袋の辞退率は去年11月のレジ袋有料化開始直後の12月以降から、約90%とほぼすべての人がレジ袋を使わないことに賛同いただいています。嬉しいことです。  
 しかしながらレジ袋、有料化後から、段ボールとガムテープ、ビニール袋(小)の消費量が非常に上がったと、レジ袋有料化の実施店舗から言われています。  
 これでは、何にもなりません。レジ袋がダンボールやガムテープに代わっただけです。なぜ、レジ袋になったのか原点に戻って考えてください。  
 本来は資源として活用される段ボール箱ですが、ゴミとして捨てられる光景が、最近目立ってきてはいないでしょうか。できる限りマイバックを使用し、安易に段ボール箱をもらわないようにしましょう。

**その二、「ゴミ捨ては曜日と時間を厳守 しましょう！」**  
 ゴミ捨てと資源ゴミ回収の日は、各自治会または町内会での申し合わせで決められているはずですが、最近、この資源ゴミの日時を守らずゴミが出されるためカラスによるゴミ(プラのみ)の撒き散らしの被害が増えています。アンケートでゴミ袋の色の工夫などの案がありましたが、まだまだ時間がかかると思われます。まずはゴミを出す町の皆さんが、決められた日時に出すことです。

**その三、「自分の地区の決められた場所に 出しましょう！」**  
 通勤時、見受けられるのですが、自分の町内でなく他人の町内へゴミを適当に放り込んで行く人がいます。そんなゴミの中には、不燃ごみやビール缶が混ざっていたりすることも多いようです。それを阻止するため、町内によっては鍵掛けをしています。必ず、自分の地域の集積場に出しましょう。

ゴミ出しはいろいろ難しい問題をはらんでいると思われれます。でもこの問題こそ、皆が自分の問題として、今解決しておかねばならない問題です。ひとつひとつ、ゴミ出しのルールを地域の事情に合わせて、自治会や町内会で話し合っ解決してください。

今回、四葉の家庭掲示用シールも再度掲げていただくように各自治会へ配布しました。まだ掲げていただけてないご家庭はご協力をお願いします。



v(≧□≦)v

今年の夏まつりは、天候不順により中止になりました。楽しみに待っていただいていたのに残念です。

実行委員の方には、何度も会議を重ねて検討していただきました。

老人会・公民館活動部の方々には、屋台や夜店に飾る花飾りも作っていただきましたし、自治会の方には、夜店で販売する商品を仕入れて、試作もしてもらいました。演技発表をする方は、練習も十分に当日の発表を待つだけでした。

中止の決定には、色々なご意見をいただいております。体育館で踊りだけでも実施したらとか、チケットをすでに販売しているのだから縮小してでも実施したら、あるいは翌週に実施するよう計画すべきであったとか。

今年中止になりましたが、皆様からの貴重なご意見と、この経験を来年に生かしてより良いものにしていきたいと思っております。ご理解のほどをお願いいたします。

前売りチケットにつきましては、各自治会から返金させていただきます。自治会長または組長さん、町内会長さんに確認してください。抽選券は無効とさせていただきますので破棄してください。



シリーズ自治会だより (三)

### 豊原町

#### 「豊原」という地名の由来について

豊原町3町内 藤木 篤

現榑田郵便局の土地には、津藩、豊原組大庄屋を務めた奥田清十郎家があった。

(昭和56年破却)奥田家の先祖は、源平合戦の中の木曾義仲追討の際、宇治川先陣争いで有名な佐々木高綱の子孫で近江国(滋賀県)の奥田庄を治め、奥田の姓を唱えた。後に越前(福井県)の豊原に移り、九代清十郎忠重の代に一族で榑田川沿いの地に移り、そこを開拓して「豊原」と呼んだ。それが、「豊原」という地名のゆえんである。ちなみに、十五代清十郎(1703-83)は漢学者として知られている奥田三角である。

#### 「大榑神社」と「榑田大市」の碑について

旧23号線(今の県道鳥羽松阪線)の4車線拡張工事に伴い、取り壊された紅葉屋



大榑神社の碑がある稲荷社

旅館の筋向いに稲荷社(いなりやしる)(豊養稲荷大明神)がある。その敷地内に「式内大榑神社」と「榑田大市」の二つの碑がある。大榑神社は、大彦命とおひこのみこと(を祭神とする延喜式の神名帳に記載されている式内社であるが、明治41年(1908年)に山添の神山神社に合祀された。その後、平成6年に分祀され、現在は豊原神社に祀(まつ)られている。

榑田大市の碑には、正面に「榑田大市」、明治32年2月5日創立、陰暦12月25日、左側面には奥田亀蔵以下14名の発起人の名前が刻まれている。これらは当時の豊原の商工会員の名前である。かつて松阪は、2月正月の慣わしがあったので、開催日は、1月25日であった。

旧伊勢街道紅葉屋(現在空き地である)前から東町(現在の3町内)、茶屋町(現在の2町内)、立町(現在の1町内)の榑田川堤防脇まで、約200メートルの間に露店が並んだ。これらの店は松阪露店商組合によるものであった。

露店には、2月正月を迎えるための正月用品を売る店(にんじん、ごぼう、たつくり、みかんなど)、子ども向けのお菓子の店(飴玉、ニッキ、綿菓子、せんべいなど)や、凧を売る店があり、奴凧(やつこだこ)が子ども達に人気があった。また商工会による福引が行われていた時期もあり、陶製の火鉢も景品にされていた。この日は安楽天神の初天神の日でもあり、近在から天神さん参りと大市めぐりを兼ねてくる人も多かった。この大市は太平洋戦争が始まる頃まで続いた。



「大榑神社」(左)と「榑田大市」(右)の碑

#### みどり苑 グリーン・エンジェルス 活動に感謝状贈られる!

みどり苑では、地域内のパトロールを積極的に行い、安全安心な町をつくろうと平成17年6月に、ボランティア17名の隊員からなる自主防犯組織(グリーンエンジェルズ)を立ち上げました。

このパトロールの特徴は、朝、昼、夜の自分たちの都合の良い時間帯を見つければ、松阪警察より頂いた防犯の腕章、帽子それに反射用のタスキを着用し、散歩しながらの実施をすることです。

活動は、広範囲で実施され、当のみどり苑はもとより、伊賀町、山下町、安楽町、豊原町、榑田町まで及び、1〜2時間を掛け、徒歩で2〜3人一組で見回りをしていきます。

また、この度は、榑田地区安全協会の支援を受けて、危険と思われる通学路へ一般車両に児童を優先するよう協力を呼

び掛ける看板を設置したり、団地内の3ヶ所に「子どもを守る家」を設けたりして、地域の安全安心に大きく貢献をしています。  
このようなグリーン・エンジェルスが取組に対してこの6月23日、松阪市の橋西公民館にて松阪地区生活安全協会より松阪市長、松阪警察署長の参加の下、感謝状をいただきました。これは隊員たちの大きな誇りとなっています。



感謝状と盾を手に 隊員の方々

#### お蔭参り公開講座

日時 平成二十一年九月一九日(土)  
午後一時から

場所 榑田市民センター 一階ホール  
講師 皇学館大学教授 岡田 登  
内容 お蔭参りについて 他

参加は自由・無料です。

多数の皆さんの参加をお待ちしています。